

石原健一先生 記念号によせて

石原健一先生が、この3月にご退職されます。本学の近年の礎を築いていただいた石原先生が大学を去ることは、大変心さみしいことでもあります。本学の発展にご尽力いただきました石原先生に衷心より感謝申し上げます。

石原先生は1976年3月に関西大学経済学部経済学科を卒業後、同年4月に同大学大学院経済学研究科に進学されました。1983年3月に関西大学大学院経済学研究科博士後期課程を終えられた後、同大学院の研修生として研究を継続され、1984年4月に岐阜経済大学に専任講師として就任されました。その後、1989年4月に助教授、1999年4月に教授に昇格されております。また、1999年12月から2001年11月まで教務部長、2002年2月から2007年11月まで及び2009年3月から2010年3月まで法人理事、2003年12月から2007年11月まで経済学部長の役職を歴任し、2013年2月から2017年3月まで学長に就任しました。

このように石原先生は、本学において大学教育に尽力するとともに、大学の行政においても多大なるご尽力をいただき、18歳人口の減少期における本学を支えていただきました。今日の岐阜経済大学があるのも、先生のお力のおかげと言っても過言ではありません。

さらに、学問研究においては、計量経済学・数理経済学の批判的検討や、物価指数における経済理論的接近という研究課題から、理論経済学の深化や経済現象の計量的・統計的分析に関する論文、著書を発表するなど、学術文化の発展に寄与されました。

その他、大垣市文化事業団理事、大垣市総合計画審議会会長、大垣市公設地方卸売市場「市場取引委員会」会長など大垣市の公職を歴任し、理論経済学研究者の立場から大垣市の発展に貢献をされました。

思い返せば、私が専任講師として本学経済学部コミュニティ福祉政策学科に着任したとき、石原先生は経済学部長の職に就いておられました。何も分からない教員1年生の私を石原先生は親切にご指導くださり、大変お世話になったことを憶えております。また、その後の同学科の改革にもご尽力いただき、現在の公共政策学科の基盤を築いていただきました。

さらに、学長在任の間には、岐阜経済大学創立50周年記念事業実行委員会の発足と

事業計画の策定に中心的役割を果たされました。また、学校法人岐阜経済大学と学校法人大垣女子短期大学の法人合併協議、そして、新法人である「学校法人大垣総合学園」の発足に大変ご尽力いただきました。

本学は2019年度に看護学部の設置を予定しておりますが、この看護学部は大垣女子短期大学の看護学科が学部に発展するものです。このように、本学と大垣女子短期大学が共同して新たな学部設置に漕ぎつけたのも、石原先生が学長として法人合併を進めていただいたおかげです。

お世話になった石原先生のご退職は大変残念ではありますが、先生が築いていただいた礎の上に、教職員が一つになって岐阜経済大学を発展させていきたいと思っております。

最後に、石原先生のご健勝と益々のご活躍を祈念いたします。

岐阜経済大学学長 山 田 武 司
岐阜経済大学学会会長